

令和3年7月10日

愛知県上海産業情報センター

林 秀 幸

### 一般調査報告書

## 創立100周年を迎えた中国共産党



7月1日に北京の天安門広場で行われた中国共産党の創立100周年を記念する式典（写真：新華社）

広東省で5月下旬から発生していた新型コロナウイルスの変異種（デルタ株）による感染流行から9日連続で国内感染者がゼロとなった7月1日、北京の天安門広場において中国共産党の創立100周年を記念する式典が盛大に開催されました。

この日は平日でしたが、テレビもラジオもほぼ全てのチャンネルが祝賀式典を同時中継し、スマホやパソコンでのライブ配信などあらゆるメディアが中継映像を配信したことで、式典は多くの国民の注目を集めました。

中国の共産党員は現在9,500万人強（人口の6～7%）とのことで、今回の式典には約7万人が参加したと報じられました。今回は、中国共産党について紹介します。

中国共産党は1921年7月に上海で創設されました。ちょうど、日本の作家、芥川龍之介が大阪毎日新聞社の海外視察員として中国（主に上海）を訪問したのが1921年の3月から7月だそうです。この時、芥川は満29歳であったといえます。

中国共産党の第1回大会は7月23日に上海で行われましたが、党の創立記念日は7月1日となっています。2021年7月1日は、中国共産党が1921年の建党から様々

な紆余曲折を経て100年の節目を迎える重要な日となりました。

ちなみに中華人民共和国の建国は1949年10月1日ですので、現在は建国71年となります。100周年記念式典で行われたヘリコプターによるフライトセレブレーションでは、空中に建国100周年の「100」の文字が描かれたほか、建国71年を表す「71」の文字も出現しました。

## 中国の政党

一般に、中国の政党といえば中国共産党のイメージが強いかと思われますが、現在、中国には中国共産党のほか8つの民主諸党派があります。8つの民主諸党派とは、中国国民党革命委員会、中国民主同盟、中国民主建国会、中国民主促進会、中国農工民治同盟、中国致公党、九三学社、台湾民主自治同盟をいいます。

これらの政党は一見、多党制を構成しているように見えますが、他国における競争的な多党制や2大政党制とは異なります。中国の政党制度は、「中国共産党の指導の下に諸党派が協力し、中国共産党が政権を執り、諸党派は参政する」という中国独自の制度がとられています。民主諸党派はあくまで中国共産党に対し協力と監督を行う立場であり、いわゆる「野党」ではありません。

中国の政党制度は、執政党である中国共産党の指導に多党が協力し、政治協商制度によって民主的政策決定を実行するという政治制度になっています。政治協商制度とは、中国共産党の指導の下で、民主諸党派、人民団体代表、少数民族代表、社会各界代表などが、中国人民政治協商会議を組織し、国政の大方針について民主的協議を行う制度です。

中国の政治制度においては、この多党協力と政治協商が、民主的政策決定の重要な要素として位置づけられています。

## 中国共産党の目標

中国共産党の最終目標は共産主義の実現です。現在は、社会主義初級段階であり、経済発展・社会発展を進めるための「経済建設」が党の主要な任務になっています。これまで中国共産党は、党創立100周年（2021年）までに小康社会（主に貧困脱出を指す）の実現を目指してきました。中国政府は、2020年までに国内の貧困をすべて撲滅したとしており、7月1日の記念式典においても、中国共産党の目標とする「小康社会」の実現は「全面的に完成された」と宣言されました。

小康社会の実現を果たした中国共産党の次の戦略目標は、社会主義近代国家の実現です。中国の政治は、目標と目的、方法、時期などが明確に定義されており、次は中華人民共和国の建国100周年にあたる2049年を目標年次とした政策が進められていくことになっています。富強、民主、文明、和諧といった社会主義の核心的価値観をすべて実現する「社会主義近代国家」の実現がそれに

あたります。今後は、経済建設、政治建設、文化建設、社会建設、エコ文明社会の建設を全面的に推進するための政策が実施されていくものと思われます。

### 中国政治制度の本質

現代中国の政治制度の本質は、先に述べたように共産主義の実現であり、それはつまり、公共秩序の維持と利益分配の実現にあると言えます。中国の現行憲法の第1条は「中華人民共和国は労働者階級が指導し、労農同盟を基礎とする人民民主独裁の社会主義国家である」と規定しています。「人民民主独裁」とは、国家のすべての権力は人民に属している、ことを表します。人民民主独裁はすなわち、労働者階級を中国の指導者階級とすることであり、その代表である中国共産党による指導を堅持することである、ということになります。

世界第2位の経済大国となり、小康社会の実現を果たした中国は、「中国の特色ある社会主義」の実現に向かって、新たな発展期に突入していくものと思われます。

引き続き、その動向から目が離せません。

### 参考：最近の中国内の主な動き

2021年

- 6月11日 ・中国自動車工業協会は、2021年5月の新車販売台数を前年同月比3.1%減の212万8,000台と発表
  - ・中国の新型コロナワクチンの接種人数が6月10日で6億2,200万人と世界最多に。
- 6月26日 ・広東省広州市は、新型コロナの地域リスク分類の「中リスク」地域に指定していた市内4カ所を「低リスク」地域に引き下げ
- 7月 1日 ・中国共産党は、北京天安門広場で建党100周年の祝賀式典を開催
- 7月 3日 ・広東省で省外へ移動する場合に義務付けられていたPCR検査の陰性証明の提示が一部都市を除き不要に。
- 7月 5日 ・雲南省瑞麗市で新型コロナの国内症例3人を確認
- 7月 6日 ・トヨタ自動車は、中国の6月新車販売台数が前年同月比2.9%減の16万7,900台だったと発表

上海産業情報センターでは、今後も中国の現地情報を提供して参ります。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。